

乗鞍岳の火山活動解説資料（平成 26 年 12 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 1）

乗鞍高原遠望カメラ（乗鞍岳の東北東約 7 km）による観測では、今期間、噴気は認められません。

・ 地震活動（図 2－①、図 3）

今期間、火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。

火山性微動は観測されていません。

・ 地殻変動の状況（図 2－②～④、図 4）

GNSS^注 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

注）GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 乗鞍岳 山頂部の状況

（12 月 27 日 乗鞍高原遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 27 年 1 月分）は平成 27 年 2 月 9 日に発表する予定です。
この資料は気象庁のほか、国土地理院、京都大学、名古屋大学、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『2 万 5 千分 1 地形図』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

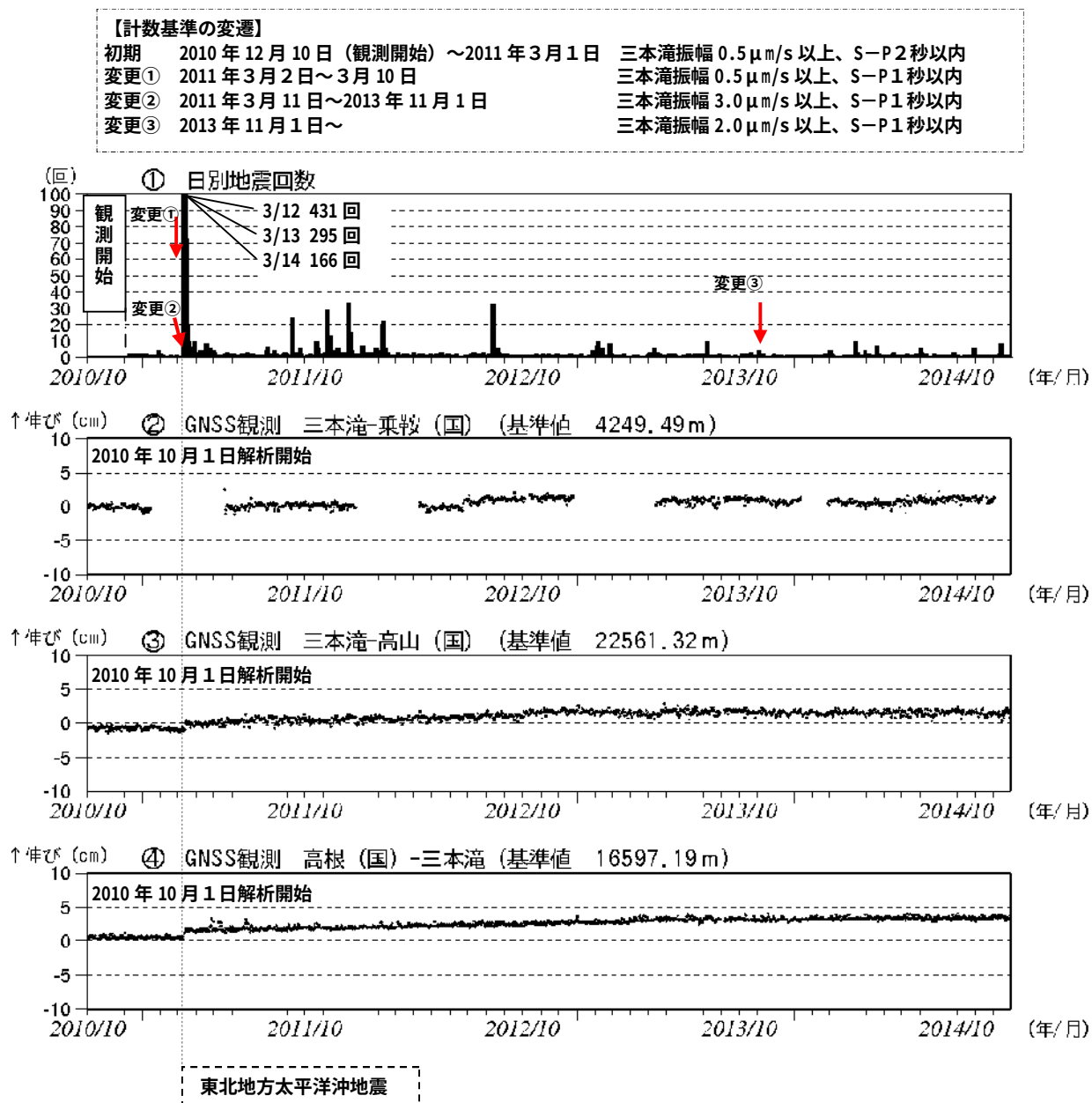


図 2 乗鞍岳 火山活動経過図

- ① 乗鞍岳周辺の日別地震回数（2010 年 12 月 10 日～2014 年 12 月 31 日）
- ②～④：GNSS 連続観測による基線長変化（2010 年 10 月 1 日～2014 年 12 月 31 日）
（国）：国土地理院
- ③④の基線には、東北地方太平洋沖地震（2011 年 3 月 11 日）に伴うステップ状の変化がみられます。
- ②～④は図 4 の GNSS 基線②～④に対応しています。
- ② グラフの空白部分は欠測を示しています。

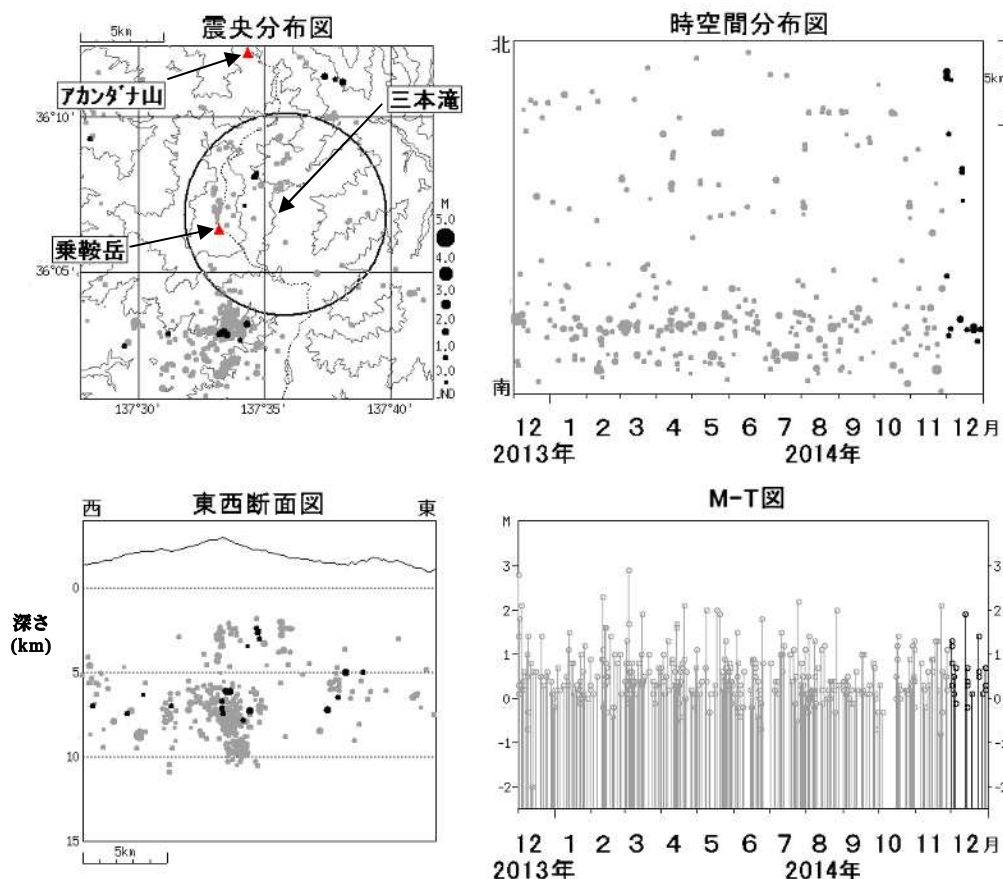


図3 乗鞍岳 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2013年12月1日～2014年12月31日)

●：2013年12月1日～2014年11月30日 ●：2014年12月1日～2014年12月31日

震央分布図中の円は図2の計数対象地震（三本滝でS－P時間1秒以内）のおよその範囲。

M（マグニチュード）は地震の規模を表します。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

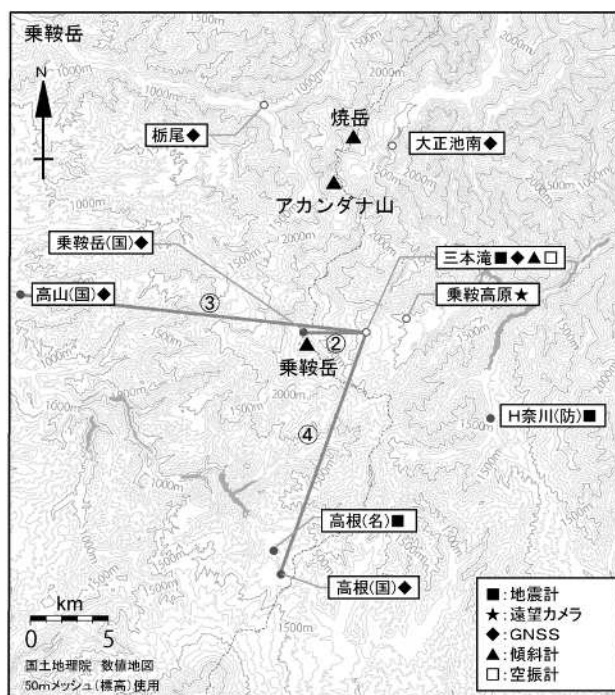


図4 乗鞍岳 観測点配置図

GNSS 基線②～④は図2の②～④に対応しています。